

表彰関係 Prizes

所外

賞の種類：最優秀ポスター賞（第3回「超アクチノイド元素の化学と物理」国際会議）

受賞件名：Alpha fine structure spectroscopy for heavy- and transactinide nuclei

受賞日：平成19年9月26日

受賞者：浅井 雅人（超重元素核化学研究グループ）

プレス発表 Press Release

タイトル：「世界最高レベルの収束度を持つ小型陽電子顕微鏡を開発—原子力材料のミクロな劣化診断が可能に—」

発表日：平成19年12月6日

担当者：前川 雅樹、河裾 厚男（陽電子ビーム物性研究グループ）

基礎科学セミナー ASR Seminar

回	年月日	講演者	開催テーマ
318	H19.9.18	Claude Guet (フランス 原子力庁)	フランスにおける原子力技術開発の現状と有限系における線形及び非線形電子ダイナミクスについて
319	H19.9.25	Murugappan Muthukumar (アメリカ マサチューセッツ大学)	Managerie of viruses: diverse chemical sequences or simple electrostatics
320	H19.10.4	Philipp Gülich (ドイツ マイントツ大学)	火星でのその場分光測定：NASA（ナサ）ローバーに搭載されたマインツ大のメスバウアー分光器が火星での水の存在を突き止める
321	H19.10.19	Asokendu Mozumder (アメリカ ノートルダム大学)	高速荷電粒子と物質との相互作用の理論：基礎と最近の進展
322	H19.10.24	Valery Ivanovich Zagrebaev (ロシア ドブナ合同原子核研究所)	Low-energy collisions of heavy ions
323	H19.11.1	神戸振作（先端基礎研究センター）、 徳永 陽（先端基礎研究センター）、 加藤正人（プルトニウム燃料技術開発センター）、 西剛史（原子力基礎工学研究部門）	第2回 JAEA アクチノイド科学ネットワーク研究会 アクチノイド酸化物の基礎物性と機能（課題と展望）
324	H19.11.22	Easan Sivaniah (イギリス リーズ大学)	In vitro preparation of biocompatible, biodegradable polymer coatings
325	H19.12.10	篠原 厚（大阪大学大学院）	ミュオン原子の生成過程と原子核との相互作用
326	H19.12.19	石田武和（大阪府立大学大学院）	ナノ秒で超高速動作する MgB ₂ 中性子検出器の開発
327	H19.12.26	Peter Möller (アメリカ ロスアラモス国立研究所)	5次元のポテンシャル表面に基づく核分裂に関する性質の計算
328	H20.1.22	Jean-Paul Jay-Gerin (カナダ シャーブルック大学)	Monte-carlo simulation studies of the radiolysis of water: some applications to pH and LET effects
329	H20.1.28	Pavel Avramov (先端基礎研究センター)	Nanoarchitecture of new complex nanostructures on carbon and silicon base: the role of interfaces in determination of structural, magnetic and optical properties
330	H20.2.4	森林健悟（量子ビーム応用研究部門）	XFEL による生体分子損傷の素過程
331	H20.2.26	井出 博（広島大学）	放射線によるクラスター DNA 塩基損傷の生成と塩基除去修復
332	H20.3.25	Mikhail Itkis (ロシア ドブナ合同原子核研究所)	The status and prospects of the superheavy element research at Dubna

外国人研究者招聘 Visiting Scientists

年月日	被招聘者	招聘目的
H19.10.22 ~ 10.25	Valery Ivanovich Zagrebaev ロシア ドブナ合同原子核研究所 フレロフ原子核反応研究部	アクチノイド原子核や希土類原子核など変形した標的原子核を用いた重イオン融合反応機構に関する議論
H19.10.22 ~ 10.25	Eduard Mikhailovich Kozulin ロシア ドブナ合同原子核研究所 フレロフ原子核反応研究部	超重元素を合成するための重イオン融合反応機構に関する議論
H19.11.4 ~ 11.11	Hooshang Nikjoo アメリカ 航空宇宙局 (NASA)	クラスター DNA 損傷生成に関するコンピュータシミュレーションに関する講演及び議論
H19.11.1 ~ 11.15	Evelyne Sage フランス 国立科学研究センター	紫外線により誘発される DNA 損傷とこれを起点とした生物影響に関する研究について講演・討論 (日本学術振興会外国人招へい (短期))
H19.11.3 ~ 11.25	井口道生 アメリカ アルゴンヌ国立研究所	原子力機構の先端基礎研究・評価委員会委員長として中間評価を実施
H19.11.22	Easan Sivaniah イギリス リーズ大学	強相関超分子系に関する講演・討論
H19.12.4 ~ 12.11	Arokiasamy Joseph Francis アメリカ ブルックヘブン国立研究所	微生物による重元素の化学状態変化機構の解明研究に関する討議
H19.12.26 ~ 12.28	Peter Möller アメリカ ロスアラモス国立研究所	核分裂に関する最新の研究成果についての講演及び議論
H20.1.14 ~ 2.3	Jean-Paul Jay-Gerin カナダ シャーブルック大学	放射線生物学の研究に関する講演・討論
H20.3.24 ~ 20.4.3	Mikhail Itkis ロシア ドブナ合同原子核研究所 フレロフ原子核反応研究部	核融合過程における準核分裂という新しい核反応事象に関する研究についての議論

ホームページのご案内

先端基礎研究センター ホームページのアドレスが変わりました。ホームページでは、研究グループの紹介や基礎科学ノートのバックナンバーを公開しています。

URL : <http://asrc.jaea.go.jp/>

編集後記

基礎科学ノートの「Interview」と「Notes」では、先端性の高い最新の研究成果を多くの皆様に理解していただけるよう心がけています。今回は日本原子力研究開発機構の特徴である研究炉とタンデム加速器を利用した研究を紹介し、3記事がタンデム加速器での研究の話です。元素の合成、化学、天体と多様な科学について研究が展開されています。馴染みのない科学の話と感じた読者の方も興味を持って読んでいただけましたでしょうか？

先端基礎研究センターは、8つの研究テーマのもと総勢約120名の研究者と研究支援者で構成されています。基礎科学ノートを通して多様な情報と人的交流を目指しています。本号では、研究員の“顔”を伝えるメディアを意識して編集いたしました。皆様からのご意見・ご感想をお送りいただければ幸いです。

巻頭言の横溝理事をはじめ執筆者の皆様にはお忙しいところ寄稿いただきましてありがとうございました。(I.N.)



基礎科学ノート編集委員会